

### 【解説文】

リニア中央新幹線が開業すると、品川駅とリニア岐阜県駅が約1時間でつながることで、人やモノの流れが大きく変わり、県全体が発展する絶好のチャンスが到来します。

県では、このチャンスを最大限に生かすため、リニアを活用したまちづくりを加速化させるとともに、県民の皆様のリニアへの理解を深め、開業に向けた機運醸成の取組の一環として、8月3日（月曜日）に「岐阜県リニアシンポジウム『リニアで描く未来を考える』」を開催し、6月16日から参加者の募集を開始します。

シンポジウムでは、まず基調講演として、「リニアで描く未来」と題して私からお話しした後、北陸新幹線の福井開業を見据え、駅前エリアの活性化や賑わい創出をリードしてきた、まちづくり福井株式会社の松尾大輔代表取締役社長から、開業効果を最大限に生かすために実践した取組についてご紹介いただきます。

そして、トークセッションでは、交通ネットワークや公共交通デザイン分野の第一人者である岐阜大学工学部の倉内教授のコーディネートの下、地元の小栗中津川市長、小坂恵那市長を加えて意見を交わします。

今回のシンポジウムが、県民の皆様に「リニアでどのような未来を描くのか」を考えていただくきっかけになることを期待しています。